大腸内視鏡検査を受ける患者さんへ

安謝ファミリークリニック

【検査方法・目的】

・大腸の病気を診断するために行います。

・大腸をきれいにするため事前に下剤や腸管洗浄剤を使用します。肛門より内視鏡を挿入し空気で膨らませながら観察します。必要に応じて粘膜の採取や色素散布を行います。また、希望によりポリープ切除を行います。（抗血栓薬内服中の方やポリープのサイズ・個数によっては入院可能な施設へ紹介します。）

・検査中痛みが強い場合や合併症が起こった場合は、検査を中止することもあります。

【検査前日の食事・服薬】

・消化のよいものを食べ、夕食は 20 時までに軽めに済ませてください。禁酒です。

・普段から飲んでいる薬はいつも通り服用していただき、追加で処方された下剤内服ください。

・血液をさらさらにする薬を中止する必要はありません。

【検査当日の食事・服薬】

・当日朝は食事できません。腸管洗浄剤を内服し腸をきれいにしていただきます。

・当日朝は、血圧の薬以外は服用せずにお越しください。

・検査前日・当日とも激しい運動や重労働はできるだけ避けてください。

【内視鏡検査の偶発症について】

大腸内視鏡検査では、まれに以下の偶発症が起こりうることが報告されています。
万一、これらの偶発症が起きた場合には、最善の処置を行いますが、経過によっては高次医療機関への搬送・入院加療が必要になることもあります。

・内視鏡本体や生検※、ポリープ切除による粘膜の損傷や出血、消化管穿孔（穴が開くこと）
※生検：組織を一部採取し病理検査に提出して良性・悪性などの詳しい検査を行うことがあります。

・使用する薬剤に対するアレルギーや、薬剤を注射した部位の炎症や血管痛、神経の損傷

【鎮静剤について】※ 鎮静剤を使用せずに検査を行うこともできます。

鎮静剤とは、身体的・精神的な緊張や不安、痛みを緩和するお薬です。
当院では、鎮静剤を静脈注射して、できるだけ苦痛の少ない状態で内視鏡検査を受けていただくことができます。ただし、効果には個人差があり「完全に眠った状態」での検査を確約できませんのでご了承下さい。

・検査中は常に脈拍・酸素飽和度などを確認しますが、お薬の影響により呼吸抑制、血圧や脈拍の低下などをきたし、生命にかかわる場合があります。

・鎮静剤の使用後は眠気が残ります。 検査当日は車やバイク、自転車の運転はできません。
運転による事故が発生した場合は自己責任となりますのでご了承ください。

【その他の検査について】

大腸の観察は内視鏡検査がもっとも精度が高く、治療もできます。当院では内視鏡検査を推奨しています。
（大腸透視（バリウム）や CT、MRI でも腹部を検査することができますが、当院では実施できません）

【事前の WEB 問診にご協力下さい】

上記内容を確認した上で、以下のいずれかをチェックして
日付と署名をお願いします。

☐ 鎮静剤を使用した内視鏡検査を希望します。

☐ 鎮静剤を使わない内視鏡検査を希望します。

☐ ポリープ切除を希望します。

☐ 内視鏡検査は希望しません。

年____月____日（※署名した日付を記入してください）

（署名） ……

※キャンセル又は日程変更の方は早めにご連絡ください